平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号）	提案機関名	ＪＡ全農かながわ
１０９ ※記入不要		

要望問題　キウイフルーツ新品種の導入検討、栽培普及について

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）　】

＜背景＞
　現在、県西地域を中心に 160ha のキウイフルーツ園があり、産地化されているが、そこで栽培されている品種は「ヘイワード」が主力となっている。
しかし、最近ニュージーランド等からの輸入キウイの増加、国内他県産の新品種の出現等により販売に厳しさが出ている。

<内容>
　そこで、将来の県下産地の振興のため、また消費者の多様なニーズに対応するために現在の品種より熟期の早い新品種の導入検討、栽培普及について要望します。

<対象地域及び規模>
　県西地域を中心に 160ha

解決希望年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
研究対応区分	①研究所対応　②委託研究　③共同研究　④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（ ②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場 ） ⑨自然環境保全センター

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	根府川試験場
部　　署：	
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可
試験研究課題名	（①、②、④の場合） キウイフルーツの選抜育成

対応の内容等
　中国系品種、ヘイワードと選抜雄とを交配し、現在結実する系統が現れてきているところです。一部有望系統がみられていますので、さらに形質調査を継続する予定です。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
備　考	